九州整備局と大規模災害時の応援協定締結

阿蘇・菊池地域の2市5町3村は国土交通省九州整備局と、地震・噴火・洪水など大規模な災害の発生が予想される場合や発生した際、応援し助け合うことに同意し協定を結びました。

具体的な九州整備局の応援内容は、ヘリコプターを使った上空からの被害状況緊急確認、災害本部への動画配信、道路・河川などの復旧の提言、人材・資材の調整等で、近隣町村もこれに合わせ協力するほか、被害拡大や二次災害の防止のためできる限り努めることなどが盛り込まれています。

調印式は、2市5町3村長はじめ九州地方整備局長が集い8月4日、阿蘇市役所で行われ、大規模災害時の連携がしっかりと約束されました。

阿蘇ジオパーク推進室が火山博物館に移転
記念イベント『阿蘇ジオサイト展』10月30日まで!

阿蘇カルデラや周辺地域には、様々な火山地形・地質を中心とした観光スポットやジオサイトがあり、これらをしっかりと未来に向け保護・活用する公式な手段として、現在、阿蘇郡市町村、国、県、学識経験者、農業・観光業者が一体となり、世界ジオパーク認定を目指しています。

その推進室が8月1日、阿蘇地域振興デザインセンター（県阿蘇地域振興局内）から、ジオサイトの中心となる火口近くであり、関係資料や専門家が常駐する阿蘇火山博物館内に移転しました。

推進室では、来年4月の世界ジオパーク認定申請に向け様々な課題に取り組む中、市民の皆さんや観光客に向けてのジオパークについて説明・案内も積極的に行います。

推進室移転を記念し、阿蘇火山博物館では10月30日まで、「阿蘇ジオサイト60展」を開催しています。阿蘇ジオサイト全60ヶ所がわかりやすく紹介してありますので、ぜひこの機会にご来館ください。

学力向上を目指した市の取組

○阿蘇市教育研究会全体研修会

阿蘇市の教育振興を図るために設置されている教育研究会の全体研修会が8月1日、阿蘇青少年交流の家で行われ、阿蘇市内小中学校教職員など約230人が参加しました。

教育研究会は平成18年度に設置され、『ふるさとを誇りとし、認め合い、学びあい、励ましあい、のびのび・いきいきとした阿蘇市民づくり』という市教育目標の実現を目指し、学力や心身の育成のための指導力向上を図るために、毎年全体研修会を開いています。

研修会では一の宮中学校、田中知博教諭の長期社会体験研修発表や環太平洋大学長の梶田叡一氏を講師に招き、『確かな学力と言葉の力』と題した講演が行われました。

○九州東海大学の生徒が小・中学校で学習指導

市では夏休み期間中、大学生に児童生徒たちの勉強を見てもらう新たな学力アップへの取組を展開しました。

これは長期の休みで学習意欲が低下しがちな子どもたちに、先生とは違うお兄さんやお姉さんに宿題や解らない問題をみてもらうことで楽しく学び、2学期を明るく迎えてもらおうというもので、九州東海大学阿蘇校舎の学生たちが、地域貢献としてボランティアで市内の小・中学校を廻り、指導に協力していただきました。